



平成 25 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 SmartEbook.com
代表者名 代表取締役 安嶋 幸直
(JASDAQ・コード 2330)
問 合 せ 先 取締役財務部長 飯田 潔
電 話 092-263-5911

平成25年12月期第1四半期業績と前年実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成25年12月期第1四半期（平成25年1月1日～平成25年3月31日）の連結業績と、前年実績（平成24年1月1日～平成24年3月31日）の連結業績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 12 月 期（平成 25 年 1 月 1 日 から平成 25 年 3 月 31 日）の連結業績と前年実績との差異
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
平成 24 年 12 月 期 第 1 四 半 期 実 績 (A)	152	△216	△171	△172	円 銭 △78.75
平成 25 年 12 月 期 第 1 四 半 期 実 績 (B)	78	△257	△220	△222	△101.54
増減額 (B-A)	△74	—	—	—	—
増減率 (%)	△48.7%	—	—	—	—

2. 差異が生じた理由

平成25年第1四半期連結業績は、中国流通チャネルへの配信強化、大手出版社とのライセンス契約、ネット書店最大手の「中国図書網」との協業契約を進めるとともに、e-book共有サービス「Book-mate」については、日本・英国に続き、米国での特許を取得いたしました。

しかしながら、国内において、自社ビューワーを使ってのメジャータイトル配信の許諾調整に時間を要したため、当第1四半期中でのプロモーション投資が出来なかったこと、海外については、新規のサービス開始時期が第2四半期以降に変更になったことから、売上高は、減収となりました。利益面につきましては、主にプロモーション費用は減少となりましたが、売上高の減少により、営業損失の改善には至りませんでした。

この結果、売上高、78百万円（前年同期比48.7%減）、営業損失257百万円（前年同期は営業損失216百万円となり、経常損失220百万円（前年同期は経常損失171百万円）四半期純損失222百万円（前年同期は四半期純損失172百万円）となりました。

以上